

競技・審判上の注意

【全般的事項】

1. この大会は、公益財団法人全国高等学校体育連盟が定めた大会実施要項及び公益財団法人日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程、並びに公認審判員規程により行います。
2. 審判はすべて大会本部にて行います。なお、サービスジャッジは原則としてつけません。
3. 選手は試合開始予定の1時間前までには会場に到着し、必ず「受付」を済ませてください。
4. 競技の進行を円滑に進めるために、「受付」「集合」等の時間厳守に努めてください。
5. 試合の進行状況に応じて、予定された試合の開始時刻やコートを変更することがあります。コールには十分注意をしてください。
6. 試合を連続して行う場合のインターバルは次の通りです。
＜学校対抗＞ 学校対抗が連続する時は、20分とします。
＜個人対抗＞ 個人対抗（単・複）が連続する時は、15分とします。
7. 各試合（マッチ）のインターバルは次の通りです。
○すべてのゲーム中に、一方のサイドのスコアが11点になったとき、60秒を超えないインターバルを認めます。（選手は20秒前にはコートに入ること）
○第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間には120秒を超えないインターバルを認めます。（選手は20秒前にはコートに入ること）
8. インターバル時に指示・助言をする場合には次の条件に従ってください。
○インターバルでは、どちらのサイドも2人まで競技区域に入ってきてもよい。これは、エンドを替えた後に入り、主審が「（コート番号）20秒」とコールしたら、コートから離れるものとする。
9. 個人対抗単において、試合開始前の練習（3分間）をする相手は対戦相手とします。
10. マッチ（試合）中の水分補給、汗ふきなどは必ず主審の許可を必要とします。また、以下のことに注意をしてください。
○必ず蓋付きの容器を使用し、主審横の指定した入れ物に入れてください。
○体力回復措置を図っているとおぼしき水分補給行為は慎んでください
○氷のうの使用は、インターバル中のみとし、フロア内に持ち込み（保管）をする場合は、その容器としてクーラーバック（小型のソフトタイプ）のみを認めます。
○学校対抗の際、ベンチ（シート上）での水分補給を認めます。ただし、必ず蓋付きの容器を使用してください。万が一シートが濡れた場合は、各校の責任において直ちに拭き取り、フロア（床）面の保護には万全の注意を払ってください。
11. サービスの遅延行為に関しての判定は主審が行います。1度目は口頭での注意、2度目以降はフォルトとします。
12. 主審が必要と認めた以外のプレーの中断は、一切認められません。
13. 次のような違反行為に対しては厳正に対処をします。（競技規則第16条）
○息切れなど、体力回復等の遅延に関わる行為。
○インプレーの時に指示や助言をすること。主審の許可なしにコートを離れること。
○故意にシャトルに手を加えたり破損したりする行為。
○審判員や観客に対して横柄な振る舞い、下品で無礼な態度、言動。
○見苦しい着衣でプレーをする。
○ラケットや身体でネットなどのコート施設を叩く、耳障りなかけ声や奇声を発するなどの不品行な振る舞い。
14. 競技中は、必ず高等学校名・都道府県名の入ったシャツを着用するか、ゼッケンをつけてください。（背面の文字は明確に判読できるもの）
15. マッチ（試合）中のけがや病気の場合は、主審が慎重かつ適切に処置しますが、もし必要ならば競技役員長（レフェリー）を呼びます。競技役員長（レフェリー）は医療役員やその他の人をコートに呼ぶ必要があるかどうかの判断を下します。
16. 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認められません。もし判定に対し疑問がある場合には、次のサービスがなされる前に「質問」をすることができます。ここで質問ができる者とは、学校対抗では、「当該選手と監督」、個人対抗では、「当該選手」に限ります。監督は「IDカード」を必ずつけてください。
17. コーチングシートに入る際には、必ずIDカードをつけてください。また、マッチにふさわしい服装であることを心がけて下さい。
18. 競技場内では、携帯電話の電源を切るか、もしくはマナーモードにしてください。また、インターバル中にモバイル機器を利用したコーチングは禁止といたします。
19. その他は監督会議における打ち合わせ事項に準じます。

【学校対抗に関する事項】

1. 監督、コーチ、マネージャー、選手の変更は監督会議をもって最終のものとし、以後の変更は一切認められません。なお、追加は認められません。
2. 初回戦のオーダー用紙は、監督会議資料の袋に同封してあります。次回戦以降は主審が直接手渡します。
3. オーダー用紙は複写で記入し、自校保存用以外のものを交換所に提出して下さい。
4. オーダー用紙は所定の封筒に入れ、オーダー交換所に提出してください。対戦校立ち会いのもとでオーダー交換を行いますので、時間厳守をお願いします。
なお、1回戦は8：40とします。2回戦からのオーダー交換は放送でお知らせします。
5. 定時（指示のあった時刻）までにオーダー用紙の提出が無いときには「棄権」とします。
6. エントリーをしている競技者（監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手5～7名）は、コールがあったら速やかに、試合のあるコートに集合して下さい。
7. ベンチは主審から見て先番が左側、後番が右側とします。
8. ベンチに入ることができるのは、当該試合にエントリーされた競技者のみです。
9. 試合開始前の練習は、対戦チームとあいさつを交わした後、主審の指示でマッチ（試合）毎に3分間行ってください。なお、当初から2コート以上を用いて試合をする場合も同様に、マッチ（試合）の開始前に3分間行ってください。
10. マッチ（試合）は1回戦より2～3コート並行して行うことがあります。その際、同一選手が連続して試合をする場合のインターバルは10分とします。
11. マッチ（試合）は勝敗決定（3マッチ先取）後、打ち切りとします。

【個人対抗に関する事項】

1. 選手の変更はいかなる場合でも認められません。
2. 選手はコールがあったらコートに集合して下さい。
3. ベンチは主審から見て先番が左側、後番が右側とします。
4. 試合開始前の練習は、対戦相手とあいさつを交わした後、主審の指示で同時に3分間とします。（単の場合は、対戦相手と3分間行ってください。）

【一般上の注意】

1. 競技会場の開場は午前8時00分です。
2. 競技者は会場到着後、「受付」を済ませ、必ずIDカードを着用してから入場してください。
3. 各競技場とも、係員の指示や会場の表示に従って、下履きと上履きの区別をつけてください。
4. 部旗・応援旗を使用する際には手すりの最下部に取り付け、競技に支障がないように配慮をお願いします。
なお、大会本部が競技や大会運営に支障があると判断した場合は、指示に従って撤去してください。
5. 応援の際、競技に支障をきたすことがないように配慮をお願いします。太鼓やラッパ、笛などの鳴り物、うちわ、メガホンなどを利用した応援は禁止します。競技に支障があると競技役員長（レフェリー）が判断した場合は、競技規則に基づき厳正に対処します。（別紙参照）
6. フラッシュ・ストロボを用いての写真撮影は禁止します。また、会場施設内の電源（コンセント）の使用は禁止します。ご協力ください。
7. ゴミは各自（各チーム）で責任を持って持ち帰ってください。「来たときよりも美しく」の気持ちを心掛けてください。
8. 競技中の疾病・傷害については応急処置のみ主催者で行いますが、その後は各自で処置をしてください。
9. 防犯上、貴重品はじめ私物の管理は、各自（各チーム）で責任を持って行ってください。
10. 競技会場で観覧席から応援する場合、フロアへの落下事故防止のため、最前列は着席して応援してください。また、手すりにもたれかかっている応援は安全配慮の為、禁止します。通行に支障が生じる通路での応援も配慮をお願いします。